

《医師用》 保護者様：お子様が下記の感染症にかかり、登園されるときは意見書に提出をお願いします。

### かかりつけ医の皆様

●こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できるよう、下記の感染症について意見書の記入をお願いします。

●感染力のある期間に配慮し、子どもの健康回復状態が集団での園生活が可能な状態となつてからの登園であるようにご配慮下さい。

意見書（医師記入）	
幼保連携型認定こども園えのみこども園園長殿	
園児名 _____	
病名（ _____ ）	
_____年 月 日から症状も回復し、集団生活に支障がない状態になったので登園可能と判断します。	
_____年 月 日	
医療機関 _____	
医師名 _____	

病 名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹（はしか）	発症1日前から発疹出現後、4日後まで	※①解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	症状がある期間 《発症前24時間～解熱後3日程度までが最も感染力が強い》	乳幼児は※②発症したあと5日を経過し、かつ解熱後3日が経過するまで（発症日を0日とする）
風 疹	発疹出現の7日前から、7日後くらい	発疹が消失してから
水痘（みずぼうそう）	発疹出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発疹が痂皮化してから
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身症状が良好になっていること
結 核	—	医師により感染症の恐れがないと認められていること
アデノウイルス感染症（プール熱・咽頭結膜熱）	発熱、充血など症状が出現した数日間	主な症状消失後2日が経過するまで
流行性結膜炎	充血・めやに等の症状が出現した数日間	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失してから
百 日 咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失していること、又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療が終了していること
腸管出血性大腸菌感染症（O157、O26、O111等）	—	医師により感染の恐れがないことが認められていること
急性出血性結膜炎	ウィルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認められていること
侵襲性髄膜炎菌感染症（髄膜炎菌性髄膜炎）	—	医師により感染の恐れがないと認められていること
新型コロナウイルス感染症	発症2日前から発症後5日間	発症した後5日を経過し、かつ、※③症状が軽快した後1日を経過するまで

※① 解熱した次の日を第1日と数える

※② 発症とは、発熱の症状が現れたことを指す。発熱した次の日を第1日と数える。

※③ 症状が軽快とは、解熱剤を使用せずに解熱し、かつ、呼吸器症状（咳や息苦しさ等）が改善傾向にある状態を指します。

《保護者用》 登園の際には、下記の登園届の提出をお願いします。

- こども園は、乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団での発症や流行をできるだけ防ぐことはもちろん、一人ひとりの子どもが一日快適に生活できることが大切です。
- こども園入所児がよくかかる下記の感染症については、登園のめやすを参考に、かかりつけの医師の診断に従い、登園届の提出をお願いします。登園のめやすは、子どもの全身症状が良好であることが基準になります。

### 登園届（保護者記入）

幼保連携型認定こども園えのみこども園園長殿

園児名

病名（ ）

医療機関名（ 年 月 日受診）において

診断されました。病状が回復し、集団生活に支障がない状態と判断されましたので

年 月 日より登園いたします。

年 月 日

保護者名

病名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症 (しょうこう熱)	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること ※①発熱が治まっていること、発疹がある場合は消失してから
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や※②激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水泡・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく 普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間 (便の中に1ヶ月程度ウイルスを排泄している ので注意が必要)	発熱や口腔内の水泡・潰瘍の影響がなく 普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	※③呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
ヒトメタニューモ ウイルス感染症	呼吸器症状のある間	※③呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
伝染性紅斑 (りんご病)	発疹出現前の1週間	全身症状が良いこと
突発性発疹		解熱後、全身症状が良いこと
帯状疱疹	水泡を形成している間	すべての発疹が痂痂化してから
ウイルス性胃腸炎 (ノロ・ロタ・ アデノウイルス等)	発熱・嘔吐・下痢などの症状期間と、症状消失 後1週間 (量は減少していくが数週間ウイルスを排泄し ているので注意が必要)	※④嘔吐、※⑤下痢等の症状が消失し、 普段の食事内容に回復するまで

※① 発熱がないとは、登園前24時間38℃を越える発熱がないこと。

※② 咳が治まっているとは、連続した咳がない、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅー）や、つらそうな呼吸もないこと。

※③ 呼吸器症状が消失しているとは、連続した咳がない、喘鳴（ぜーぜー、ひゅーひゅー）や、つらそうな呼吸もないこと。呼吸の数も多くなり楽な呼吸をしていること。

※④ 嘔吐が治まっているとは、登園前24時間嘔吐がない。食事もとれ、顔色も良いこと。

※⑤ 下痢が治まっているとは、登園前24時間水様下痢がなく、軟便が1日1～2回程度、また腹痛もないこと。

2023.5月